

令和4年度 第4回浦川原区地域協議会 次第

と き 令和4年7月26日(火) 18時30分から

ところ 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

1 開 会 (:)

○会議の成立確認(成立出席委員数6人) 出席委員数____人 欠席委員数____人

○会議録の内容確認者の指名 確認委員の氏名 北澤誠 委員

2 報 告

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 市からの報告

・安塚中学校、浦川原中学校及び大島中学校の統合方式について(資料1)

3 協 議

(1) 自主的審議事項の検討について

4 その他

・浦川原区地域協議会だより第53号の発行について(資料2)

5 次回の会議日程

・令和4年度第5回地域協議会

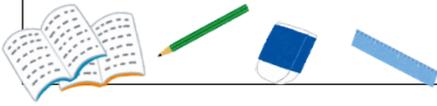
日時：令和4年 月 日 () 時 分から

会場：_____

6 閉 会 (:)

統合方式を「新設統合」に決定しました

令和4年7月19日 上越市教育委員会 教育総務課



これまで、5月19日(木)と6月30日(木)の2回にわたり、浦川原中学校への「編入統合」か、浦川原中学校の校舎を使用し新たな校名で開校する「新設統合」かについて、参加者と上越市教育委員会で意見を交わしました。

その結果、市としては、「新設統合」が妥当であると判断しました。これにより安塚・浦川原・大島の3中学校は閉校し、浦川原中学校の校舎を使用して、新しい学校名でスタートします。

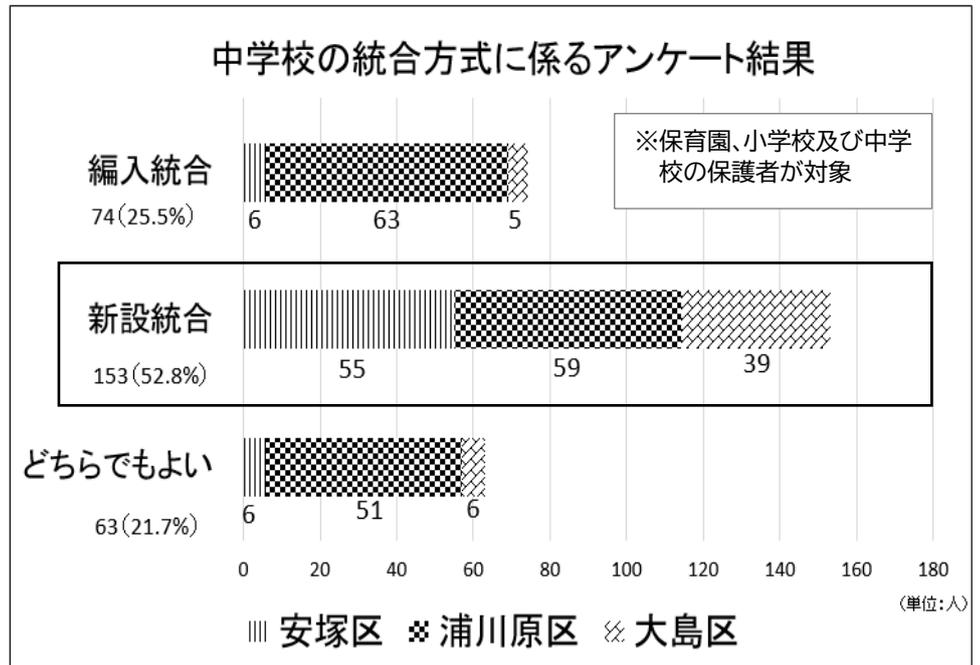
<意見交換会の経過>

1回目の意見交換会では、保護者の意向を確認した方がよいということになり、6月上旬にPTA等により保護者アンケートが実施されました。アンケートの結果は、右図のとおりです。

アンケート結果を踏まえた2回目の意見交換会では、参加者から「新設統合」を希望する意見が多く出されました。浦川原区の参加者からは、「安塚区と大島区の意見を尊重したい」という意見が出されました。

【意見交換会の参加者】 ※各区各団体1名ずつの参加です。

- ・小学校PTA代表
- ・中学校PTA代表
- ・保育園保護者会代表
- ・地域協議会代表
- ・町内会長連絡協議会代表
- ・小中学校運営協議会(CS)代表(安塚区のみ小中別代表)



<今後について>

今後、新しい校名案の募集を進めてまいりたいと思います。統合に向けた進捗状況については、適宜このような「たより」を通じてお知らせしてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、統合は、令和6年4月1日を予定しています。

【問合せ先】

浦川原区総合事務所 教育・文化グループ
担当:山崎、上野 電話:025-599-2104

上越市教育委員会教育総務課
担当:小林(秀)、小酒井 電話:025-545-9262

安塚中学校、浦川原中学校及び大島中学校の統合に係る取組について

1 主な取組経過の概要

※区の名前を記載していないものは、3区において実施

期間・期日	取組	概要
R1. 7	教育長と保護者の意見交換会	・小中学校保護者を対象に、教育長が教育環境の現状等を説明
R1. 12～R2. 3	小中学校の在り方に関する PTA によるアンケート (PTA 主催)	・保小中保護者へのアンケートと結果の共有
R3. 4～R3. 9	保護者との意見交換	・学校適正配置の考え方・取組状況の説明と意見交換
R3. 10～R3. 11	保護者代表との意見交換	・保護者との意見交換を踏まえ、市教委が学校の適正配置の方向性案 (中学校は浦川原中学校を使用して統合、小学校は継続協議) について取りまとめ
R3. 12	保護者との意見交換	・市教委が学校の適正配置の方向性案について説明し、合意を得た
R4. 1	地域協議会への説明	・市教委が学校の適正配置の方向性案を地域に説明することについて、合意を得た
R4. 1～R4. 2	町内会長連絡協議会への説明	・市教委が学校の適正配置の方向性案を地域に説明することについて、合意を得た
R4. 2～R4. 3	小中学校運営協議会への説明	・市教委が学校の適正配置の方向性案について説明し、合意を得た
R4. 3	地域への説明	・市教委が学校の適正配置の方向性案について説明し、合意を得た
R4. 4	統合の方針決定 地域へのチラシ配布	・住民の様子から統合することについて一定程度の理解を得られたと判断し統合を決定、今後統合方法について検討することとあわせて周知
R4. 4～5	地域協議会、町内会長連絡協議会、学校運営協議会、保小中保護者代表への説明	・住民説明の報告 ・統合方式に係る意見交換会の周知と代表者選出を依頼
R4. 5. 19	第1回安塚中学校・浦川原中学校・大島中学校の統合方式に関する意見交換会	・統合方式に係る説明 ・統合に向けたスケジュールの説明 ・代表者選出団体内の意見のとりまとめを依頼 ・統合方式に係る保護者アンケートと中学校生徒への学校統合の説明会について確認
R4. 6	中学校生徒への説明会	・学校統合に係る諸事項について説明 ・保護者へ「たより」により実施概要を報告
	統合方式に係る保護者アンケート	・保小中の保護者にアンケートを実施、結果を報告 ・新設統合を希望する保護者が過半数以上
R4. 6. 30	第2回安塚中学校・浦川原中学校・大島中学校の統合方式に関する意見交換会	・保護者アンケートの結果と中学校生徒への説明の様子を報告 ・「新設統合」による統合方式を確認
R4. 7	統合方式の方針決定 地域へチラシ配布	・統合方式を「新設統合」に決定し、統合方式に関する意見交換会と保護者アンケートの結果とともに周知
	地域協議会への説明	・統合方式を「新設統合」に決定したことの報告 ・今後のスケジュールについて説明

2 統合までの主な予定

年	月	内容
令和4年度	8月～9月	地域協議会へ中学校廃止の諮問、答申
	8月下旬～9月中旬	新しい校名公募
	9月下旬	(仮称)3区中学校統合実行委員会設置準備委員会の設置
	9月下旬～11月中旬	校名候補の選定と決定
	11月下旬～12月下旬	浦川原区地域協議会へ新設統合による中学校設置の諮問、答申
	12月以降	(仮称)3区中学校統合実行委員会の設置と統合に向けた諸準備 (校歌・校章、通学路及び通学方法、PTA組織、制服・体操着、後援会組織など) 中学校校長連絡会(中学校合同教育研究会)による新教育課程の作成や 学校管理の検討、事前交流活動や合同授業の計画 浦川原中学校の施設・設備の整備
	3月	学校設置条例改正に係る議会での承認
令和5年度	4月以降	生徒間交流・合同授業の実施 PTA交流活動の実施
	10月～11月	各校閉校式典
	3月	各校PTAや後援会の解散 備品の運搬等

3 その他

【参考資料】

<生徒数推移の予想(特別支援学級在籍児童生徒数を含む)>

令和4年5月1日現在

学校名	安塚中				浦川原中				大島中				安塚中+浦川原中+大島中			
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
R2年度	15	6	18	39	35	27	31	93	4	11	3	18	54	44	52	150
R3年度	6	16	7	29	23	35	27	85	6	3	11	20	35	54	45	134
R4年度	8	7	17	32	13	23	35	71	5	6	3	14	26	36	55	117
R5年度	13	8	7	28	24	13	23	60	6	5	6	17	43	26	36	105
R6年度	5	13	8	26	24	24	13	61	5	6	5	16	34	43	26	103
R7年度	4	5	13	22	27	24	24	75	7	5	6	18	38	34	43	115
R8年度	6	4	5	15	22	27	24	73	8	7	5	20	36	38	34	108
R9年度	6	6	4	16	15	22	27	64	4	8	7	19	25	36	38	99
R10年度	6	6	6	18	24	15	22	61	3	4	8	15	33	25	36	94

※表の色付き部分は、複式学級相当(中学校では隣接2学年合計8人以内で複式学級となる。また、弾力的運用で別の学年を複式学級とすることもあり)。

※令和5年度以降の入学者数は、令和4年5月1日現在の住民基本台帳上の人数から推計。(附属中学校、中等教育学校、特別支援学校、校区外等への通学者を含む人数)。

浦川原区 地域協議会だより

発行日：令和4年7月25日
 通算：第53号
 発行：浦川原区地域協議会
 編集：地域協議会編集委員会
 地域協議会事務局
 (総務・地域振興グループ内)

令和4年度地域活動支援事業 採択事業決定

平成22年度から13年間続けられた「地域活動支援事業」は今年度で終了となります。

振り返りますと、審査を行うに当たり、町内会をはじめとして、諸団体から多くの建設的な提案をいただき、採択に激論が続き調整に時間を要したこともありました。また、提案に沿うことができず、心を痛めたことも多々ありました。

今年は6件の提案があり、伝統文化の一端を担っていくため、芸能を通して、ご苦労されていることを垣間見ることができました。また、観光客や若い人々に自然を生かした文化の伝承を望む願いで企画された大イベントや、浦川原区民を思って企画されたもの等々、今年もどれも捨てがたい提案でありました。地域協議会委員の思いは様々でございます。区民の代表(代弁者)として任命されている委員が慎重審議した結果です。

【提案】 提案件数 6件、補助希望額 486万8千円

【採択】 採択件数 6件、補助採択額 454万5千円

<令和4年度採択事業の紹介>

(単位：千円)

事業名/団体名	事業概要	補助採択額 (補助希望額)
第13回浦川原和太鼓祭 (NPO法人保倉川太鼓)	日本古来の和太鼓の伝統文化と和の心を浦川原から発信し、「人と地域が元気なまち」にするため、第13回浦川原和太鼓祭を開催する。	670 (670)
虫川の観光資源を活用した観光PR事業 (虫川自治会)	虫川の地域資源・観光資源の整備を通じて地域の活性化を図るとともに、観光客の満足度を高めることを目的に、案内標柱の設置や観光案内などのPR活動を行う。	333 (333)
うらがわら雪あかりフェスタ (うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会)	区内の交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域活力の向上を図るため、うらがわら雪あかりフェスタを開催する。	165 (165)
広報紙「夢だより」周知推進事業 (NPO法人夢あられるまち浦川原)	毎月発行している夢だよりについて、カラー刷りで発行した際には特に好評を博したことから、今後はカラー版で発行し、法人の事業展開等について周知する。	130 (260)
「和山・観音堂」トレッキングコース整備促進事業 (NPO法人夢あられるまち浦川原)	トレッキングコースに丸太階段を設置することで安全対策と事故防止を図るほか、県指定文化財「木造十一面観音立像」のPRを含めた利用促進を図り観光交流を推進する。	854 (854)
宿泊体験交流施設月影の郷イベント事業 (月影の郷運営委員会)	創造力や思考力を養い、好奇心が芽生える機会を提供し、地域と共に歩む学校づくりの一助とするため、クラフト・スクエアin森の学校を開催する。	2,393 (2,586)

自主的審議事項の検討を進めています

自主的審議とは、地域協議会が地域住民としての観点から地域の課題や地域の活性化などについて話し合いを行うものです。私たち地域協議会は、委員それぞれが考える自主的審議事項の検討に向けた提案を行い、テーマごとにAグループとBグループに分かれて話し合いを進めています。

Aグループ

Aグループでは、自主的審議事項が各委員から大別して3項目提案されています。

- ・未来の浦川原を担う子どもたちの育成・地域への愛着醸成
- ・人口減少への歯止めを含めた若者・子育て世代に向けた取組
- ・区の伝統芸能・郷土芸能の伝承・継承



これらを具体化するために地域の声を聞くことが重要と考え、今年度はうらがわらスポーツクラブ、浦川原商工会、町内会長連絡協議会の3団体の皆さんと意見交換を行うこととしました。

6月にうらがわらスポーツクラブの皆さんからいただいた意見を紹介いたします。

人口減少対策として、国道253号沿いに宅地を造成するとともに、企業誘致を積極的に行い、働く場所を確保。子どもの環境づくりとして、遊び場（公園）の造成、ゆあみの周りのアスレチックやビオトープ型の池の再利用、山本ぶどう祭りの復活等。また、このほかに施設の要望も多くいただきました。ご協力ありがとうございました。

幅広い年齢層の方からの意見を聞くことで、いろいろな気付きを得ることができました。今後も順次意見を聞きながら、地域の課題や良いところを整理し、さらに具体的な方向性を示して地域の活性化につなげていきたいと考えております。

Bグループ

現在の北越急行（株）、通称ほくほく線の毎年の収支状況はおもわしくなく、先行きも不透明であることや、浦川原区の予約型乗り合いバス（デマンドバス）が、4月から1路線（月影ルート）を残して3路線廃止となったことは、区民の皆様は、ご承知かと思いますが、紙面の関係もあり、前記した詳細については省略させていただきます。

今後、浦川原区の交通体系をどのように構築していくか。「少子高齢化・運転免許証の返納・親子分離生活」等々、高齢者にとってますます厳しい生活となっています。この一端を解決できることを前提に議論を進めています。議論の結果を令和5年度の予算に計上できるよう、残された期間は2か月間ですが、精力的に進めていきます。

この間、担当する委員の研修もかねて、3月11日に北越急行（株）の小池裕明社長を講師に一般公開で研修会を開催しました。また、4月26日に「浦川原区の交通の現状と市の施策」について市交通政策課から研修を受け、「補助制度」等についても説明を受けました。限られた時間内で浦川原区の交通体系を作り上げ、「お一人でも」必要の時、利用できる仕組みを作り上げていくことを主眼としています。

- ① ほくほく線をマイレールとして捉えていただける、利用しやすい環境作りをする。
- ② 待ち合わせが必要な場合、待合所（室）を利用して友達・知人等との会話が楽しめるよう工夫する。
- ③ 施設等を複数利用できる制度とする。例えば、金融機関からスーパーマーケット等を利用できる。
- ④ 費用の自己負担もお願いする。運行については、1週間内で曜日を限定して実施する。
- ⑤ 補助金（助成金）等が活用できる仕組み（組織）とする。



※以上ですが、お断りしておきます、検討事項です。

いろいろと手順がありますので、決定事項でないことを申し添えます。

令和3年度

地域協議会と中学生との意見交換会を開催

～浦川原の魅力再発見！～

浦川原区地域協議会の自主事業として8年目となる「中学生との意見交換会」を実施しました。この事業は、自分たちが住む浦川原区の歴史・文化や様々な魅力を中学生が体験し、地域への愛着やこれからの未来に向けた地域づくりのきっかけ、さらには私たち地域協議会委員が地域の問題・課題を再認識することを目的に行っています。

令和3年度は、村松副会長を委員長とする実行委員で検討を重ね、「ふるさと浦川原」の歴史・文化の再発見をテーマに、区内4地区（下保倉・末広・月影・中保倉）の名所をほぼ一日かけて、中学1年生23人と地域協議会委員が市のバスで移動しながら視察しました。

視察先

○午前の部

六角堂（旧中保倉小冬季分校）⇒虫川の大スギ⇒飯室神楽⇒山田あき歌碑

○午後の部

木造聖観音立像（横住町内会）⇒谷集会所（旧月影小冬季分校・月影雅楽）

各視察場所では、関係者の方々からご説明いただきました。特に、小麦平の六角堂の視察では、偶然にも小麦平出身の方が帰省されていて、分校当時の様子を事細かに教えてくださり、建物内に入る事もでき、貴重な体験をさせていただきました。視察先の皆様のご協力に感謝いたします。

この視察を踏まえて、3月に地域協議会委員とワークショップを開催し、生徒の皆さんと5班に分かれて、5枚の素敵なマップ（浦川原の魅力地図）を作り上げました。

中学生からは、「色々な情報発信の媒体を利用し魅力をアピールできないか」、「何か自分たちが協力できることがないのか」など、力強い感想や想いをいただきました。

地域協議会は、子どもたちの視点・発想を大切に育み、地域の未来のために一緒に考えていきたいと思えます。



六角堂（旧中保倉小冬季分校）



飯室神楽



木造聖観音立像



谷集会所（月影雅楽）

活動報告（令和3年7月～令和4年6月）

日時	項目	主な内容
令和3年 7/27	第4回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・「浦川原谷ゲートボールハウスの廃止について」の諮問に対する答申について【協議】
8/6	第5回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・上越市過疎地域持続的発展計画(案)について【諮問】
9/8	第6回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・上越市浦川原運動広場(野球場・トレーニング棟)の廃止について【諮問】 ・横住総合交流促進センターの廃止について【諮問】 ・「上越市過疎地域持続的発展計画(案)について」の諮問に対する答申について【協議】
10/6	第7回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・「上越市浦川原運動広場(野球場・トレーニング棟)の廃止について」の諮問に対する答申について【協議】 ・「横住総合交流促進センターの廃止について」の諮問に対する答申について【協議】
11/22	浦川原区地域協議会委員研修会 (浦川原地区公民館)	テーマ：転換点に立つ集落～どうしても守れない集落・エリアに対してどう向き合うか～ 講師：島根大学教育学部 教授 作野広和氏
11/29	第8回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・「地域協議会に関する意識調査」結果に基づく取組の検討について【協議】 ・自主的審議事項を検討するための提案について【協議】
12/22	第9回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・地域協議会に関する意識調査結果に基づく取組の検討結果のまとめについて【協議】 ・自主的審議事項を検討するための提案の取扱い(今後の進め方など)について【協議】
令和4年 1/24	第10回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・地域協議会会長会議について【会長報告】 ・安塚区安塚地区農業集落排水処理施設の廃止及び浦川原特定環境保全公共下水道への統合について【市からの報告】 ・自主的審議事項の検討について【協議】
2/24	第11回浦川原区地域協議会 (浦川原地区公民館)	・浦川原区に係る令和4年度の地域活動支援事業の審査等について【会長報告】 ・上越市消防団浦川原方面隊の組織体制の見直しについて【市からの報告】 ・令和4年度地域活動支援事業について【協議】
3/11	浦川原区地域協議会委員研修会 (浦川原コミュニティプラザ)	テーマ：25年目の原点回帰(ほくほく線の現状と利用促進について) 講師：北越急行株式会社 代表取締役社長 小池裕明氏
3/19	令和3年度地域活動支援事業成果報告会・令和4年度地域活動支援事業説明会 (浦川原地区公民館)	
3/29	第12回浦川原区地域協議会 (浦川原地区公民館)	・令和3年度の活動実績・振り返りと令和4年度活動計画の検討について【協議】
4/25	第1回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・安塚区・浦川原区・大島区の学校適正配置に係る中学校の統合等について【市からの報告】 ・令和4年度活動計画について【協議】 ・令和4年度浦川原区地域活動支援事業の審査手順等について【協議】
5/21	第2回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・令和4年度浦川原区地域活動支援事業の審査について【協議】 ・地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について【市からの報告】
6/28	第3回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	・中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について【市からの報告】 ・令和4年度活動計画について【協議】

※上記のほか、本紙面に掲載した自主的審議事項検討のためのグループごとの話し合いや中学生との意見交換会などの活動に取り組んでいます。

■編集後記

観測史上最も早い梅雨明けで始まった今年の夏。ウイルス禍で迎える3年目となりましたが、徐々にイベントや祭りの開催が戻りつつあるようです。私が個人的に楽しみなのが謙信公祭の出陣行列です。通行止めにした山麓線(かっちゅう)を甲冑武者(かっほ)が行列を成して闊歩する姿は正に圧巻の一言。浦川原に住んでいるとあまり馴染みがないかもしれませんが、一見の価値ありです。皆さんもほくほく線とトキ鉄を使って、ぜひお出かけください。ちなみに中川市長が謙信公役を務められます。

編集委員：藤田宏裕、春日清美、北澤正彦、五井野利一